

東北電力（株）東通原子力発電所図書寄贈



津幡所長（左）から目録を受け取る越善村長

電気記念日

明治11年3月25日、東京虎ノ門の工部大学校において、公衆の前で初めてアーク灯がともされたことを記念し、昭和3年、日本電気協会の総会で3月25日が電気記念日と定められたものです。

3月29日（木）、東北電力（株）東通原子力発電所津幡俊所長が役場庁舎を訪れ、小・中学生を対象とした環境やエネルギーに関する図書を含む教育関係図書225冊を東通村へ寄贈しました。

村長室で行われた寄贈式では、津幡所長から「東通村の子ども達のために活用してください」と越善靖夫村長に目録が手渡されました。

同社は、平成10年から「原子力の日（10月26日）」、「電気記念日（3月25日）」にちなみ、次世代を担う子供たちに環境やエネルギーについて関心を深めてもらうことを目的として、村内の小学校や中学校に教育関係図書を寄贈して来ました。

寄贈は今回で27回を数え、寄贈していただいた図書数は5,290冊に及び、子ども達のために活用されています。

ありがとうございました。

東通村漁業連合研究会 普通救命講習会を実施

2月21日（火）、東通村漁業連合研究会（三國孝司会長）が東通消防署の協力により、普通救命講習会を実施しました。この講習会は、操業時における突発的負傷や急性疾患時等の応急処置を適切、かつ迅速に行うための基礎知識習得を目的に行われたもので、約60人の会員が受講しました。

開会にあたり、三國會長より挨拶が述べられた後、8人の署員から心肺蘇生法の手順とAEDを用いた除細動の方法、さらには止血などの処置方法について説明及び実技による指導を受けました。

勇気ある行動が、尊い命を救います。操業中はもちろん、日常生活においても疾病者への積極的な対応を期待いたします。

皆さんも是非受講し、救急車が到着するまでの応急処置法を学び、救命のリレーで尊い命を救えるようにしましょう。

お問い合わせ先：東通消防署 救急係 ☎ 27-2199



人工呼吸の実践



心臓マッサージの実践



AEDを使った心肺蘇生法